

舟入生の皆さんへ

## 読書案内(その2)

### 「現代語訳 古事記」 蓮田 善明 (岩波現代文庫)

日本の神話でもあるから、たくさんの神々が登場する。「因幡の白兎」「八岐大蛇(やまたのおろち)」なども載っている。市杵島姫命(いちきしまのひめのみこと)は世界遺産宗像大社が祀る神であるが、巖島神社も祀る。巖島の名前もこの神に因んでいる。御朱印を集めるのが趣味の人は前半(神武天皇の前)だけでもご一読を。大国主命(おおくにぬしのみこと)は一体何者なのだろうか。

### 「史記列伝(五)」 司馬遷 (岩波文庫)

「世の中の凡俗さに流されず、権勢や利益を求めて争うこともなく、上の者に対しても下の者に対してもかたくなにこだわることなく、自分は何れからも害をうけない。それは道の働きに似かよっている。ゆえに滑稽列伝第六十六を作る」

この序文(太史公自序)に惹かれて購入。「滑稽列伝」は文庫本で10ページに満たないが、「滑稽」な人になりたいと思った。

### 「やさしい微積分」 ポントリャーギン (ちくま学芸文庫)

知る人ぞ知るロシアの大数学者ポントリャーギン。彼が、ロシアの高校生向けの教科書のつもりで書き下ろした本。「数学Ⅱ」と「数学Ⅲ」の微積分が文庫本のたった約150ページで語られる。その道の達人による説明は、肝心なところは省略しないが、冗長になっていない。こういった説明が自分でできるだろうか。長々と御託を並べる自分を恥じた。

令和2年3月25日  
学校長